

北朝鮮情勢へのアプローチ
—調査に必要な資料・情報とその入手・分析方法—

関西学院大学 平岩俊司

はじめに

- ・北朝鮮研究の問題点・・・正確な情報の少なさと分析枠組みの欠陥
- ・客観的分析の難しさ・・・分析者の価値観、立場
- ・各国の政治的立場による分析の「ズレ」

1. 北朝鮮研究の分析枠組み

- ・冷戦期・・・イデオロギーを通して見る分析枠組み→中ソ論争と北朝鮮
- ・公開文献によるテキスト分析・・・資料批判の必要性
- ・冷戦終焉によるイデオロギーの意味変化→イデオロギー論争の可能性低下
- ・イデオロギー・・・大衆動員のためのスローガン→ただし効果については？
- ・情報の多様化・・・公開資料、脱北者情報、西側メディアの報道
- ・対応できない分析枠組み・・・情報の真贋、クレムノロジー・ペキノロジー

2. 資料

- ・『金日成著作集』、『金正日選集』など→各版の相違
- ・『朝鮮中央年鑑』、『労働新聞』、『民主朝鮮』など
- ・朝鮮中央通信、朝鮮中央テレビ、平壤放送、朝鮮の声放送など
- ・日本語資料・・・ラジオプレス『北朝鮮政策動向』など
- ・各国の資料状況→『現代韓国朝鮮研究』第 8 号（2008 年 11 月）→<参考資料>
- ・北朝鮮による歴史資料“改竄”→政権の正統性と直結→神話、エピソードの意味
- ・冷戦の終焉と新たな分析枠組み模索の必要性→客観情勢把握のために
- ・分析のための資料環境の変化→インターネット、脱北者、南北関係の変化
- ・インターネットによる北朝鮮資料

朝鮮民主主義人民共和国政府公式サイト (<http://www.korea-dpr.com/>)

政府公式ポータルサイト「ネナラ」 (<http://175.45.176.14/ko/>)

朝鮮通信社 (<http://www.kcna.co.jp>)

朝鮮新報 (<http://www.korea-np.co.jp>)

3. 情報

- ・ 総連情報・・・金正日後継→「党中央」
- ・ 韓国情報・・・韓国国内政治の問題、現状分析と政策科学
- ・ 中韓国交正常化と中国発情報の混乱→聯合通信、韓国メディアによる報道
- ・ 中国情報とロシア（旧ソ連）情報・・・歴史的アプローチが可能な分野
- ・ 南北関係の変化と韓国情報→金正恩情報など
- ・ 脱北者情報の重要性→闇市場の価格、デノミ・・・。
- ・ メディアによる調査→大量の“情報”→真贋と分析枠組み
- ・ 脱北者情報の微妙な変化→韓国政治状況との関連

4. 入手・分析方法

- ・ 入手方法
朝鮮専門書店レインボー通商 (<http://www.rainbow-trading.co.jp/>)
コリアブックセンター (<http://www.krbook.net>)
高麗書林 (<http://www.komabook.co.jp/index.php>) など。
- ・ 分析方法
- ・ 分析方法の混乱→冷戦の終焉、クレムノロジー前提条件の変更、
- ・ 新たな分析枠組みの模索・・・冷戦期の分析枠組みとの折衷

おわりに

- ・ 関心の高さと情報の信憑性→分析者の恣意
- ・ 新たな分析枠組みの必要性→北朝鮮政治体制との関連
- ・ 北朝鮮分析の必要性和東アジアにおける日本の今後の立ち位置。

<参考資料> (<http://www.meijigakuin.ac.jp/~ackj/>)

『現代韓国朝鮮研究』第 8 号 目次 (2008 年 11 月)

特集 現代韓国朝鮮研究とアーカイブズ

国家記録院 所蔵資料と利用方法 西野純也

韓国外交史料館 木宮正史

国史編纂委員会 宋柄巻

民主化運動・市民運動のアーカイブズ 清水敏行

韓国における北朝鮮資料の利用 朴正鎮

韓国現代政治史・社会史に関する口述記録 小針進

米国公文書館と米韓関係資料 李鍾元

朝鮮半島の安全保障に関するアーカイブズ 米国所在のものを中心に 道下徳成

捕獲北朝鮮資料文書について 和田春樹

外務省外交史料館の現代韓国朝鮮関係資料について 太田修

中国における北朝鮮関連資料 磯崎敦仁

解放直後の北韓研究とロシア資料 田鉉秀

ドイツのアーカイブズ 井岡博

20 年前の米国図書館で見たハングル資料整備状況と日本での示唆点 花房征夫